対 午 11 集 保 40 月団険歳 健 康 街

時 〇 ・後の後の22後の前の20健加以 は火部30年5部1部日1部9部且診入上 (日) ・<u>整</u> 時 21 理 11 旦券 (月) 配 布 23 日 方 式

午 11 (火) 時 時 30 分 5 3

時

30

分

5

3

時

可込ま15間時前午間午後月午後午前 から 部 6 の時 50 理 券

込申 111 ※ 受 ※ 不 し ジ 月 夜 付 午 みた日の間 先 保 で 元 着 年 市 全 市 全 配 で課ホ申布 電話由で チ時 電窓 話 ロム 申 でペ

医令いの新個が者当 お療和病門八別必本日 街健要人は リ総診での す検整 温理 ・券 健 配 康布 チ時

15 に クロ お機 む関年 成 八二ツ に合病 3 笛 ねの 予 受 月 約 診 31 崖 ク 院 制可日徳・・ 能 金洲千酒 日ま会葉々 時で 病し井 院す虎

क 婦 • <

り感修八 ま染会街11 一市月 し拡 大 は 婦 に 防新人開 止型祭催 のコ・予 た口輝定 めナくの 中ウ女一 止イ性第 とルの43 なス研回 間おな

1 4 6

H

時

場

内

容

対

対

象

定

定

員

用

申

め

切

り

持

持

問

合

わ

せ

FAX

4

4 4 間

0

8

1

5

7 課

佐

倉

警

察

署

八

街

部

交

7

4 8

4

0 1

1 0

内

5 ま

1 5 5。

4

市

玉

民

健

康

断

は

お

済

3

व

か

?

和

4

年

秋季全

Œ

火

555

防

運

動

実

施

11

月

9

5

で、

で※ **F B** ○ ご詳(医令千**7** 確した療和 **禁備** 認く全機5診健 くは予関年療診だ、約の2所 約の2所 さ市制受月 診 28 可日 能(火) 日ま 時で



いホ 1

だ

ド 0 で成者の**度健**力方で通せ健受ク円 た5(八**最診**くは健院ん診け助 は年昭街後れだ、康さ。をる成 をる成 併予や、 用定 すのJ るあA る組

健間 0

○ 提 ら や ※ と 方 合 ※ 費 国供れ職定はは員人1 さ検診れ い査断て

対 ☎ 国おい対診集1保30 団日険歳 保にて場期で、健 健 か以今30ごいな的き特診 診・一入上年代協スレビュー 保問な象で団日険歳 年3月 は 昭街後もだ 予 和市の 備 58 国 チ 31 年民ヤ 日子健ン 診 月康ス

へて※受 年いいのき健 金合場方ま で、 課わ合 わは、受 だ国診 さ保票 い年が 金 届 課い

祭 輝 性 0 研 開 催 ф

☆社詫ら楽 4会びびし 教申にみ 3 育し関に 課上係さ げ者れ まのて す方い 々た に皆 は、

> お国 標

宅 防マ出統 火スか いクけ防 の戸は火 ち締 10をり の守 ポる火 イン の 用 心

し危なれ

ま険る

しょっとが、

10 あ火

年る

ば習 は 絶 対 L な 13

さ

つ引ボ

ていタ

ン

し

V2 ₽ なを置ブ うな周 VID °iz 燃え そ す

◆ ば ◆ コを ح ン離んのト トい使かの プは とき ラほ グこ はり は 抜を 火 く清 0

1災の不 や発策要こ生な 掃

康さ

結をい

果受る

のけ方

いわみ 別 ◆ 常 人 ◆ 使 め ◆ を 類 部 ◆ 点 住 ◆ 装 ス ◆ 6 る住まがの訪防にはおいに火使お屋火検宅火置ト火つ を災し用災の ぐの火な防保避寄を消をすび整の10火の付ブの対必セれる **チ住**対ど災し難り確火小るカ理拡年災早かや発策要ンなを 一整大を警期 一頓を を し 防安 んを 報発 し、 寝し、 寝 に 変に 交換と ろ防 を定期にを定用す どたはめ 防炎品がある。 する。 す 的にる。 炎 品 衣 安に、

、年方 災用よ 経や認器さ のて避のおをち 置消 しす た

品警ッ用をよ練備路身しないの報ク火行りへえと体でどう 地参お難不く設に域加く方白。署消 域加く方自ぐ、。法由 法由 る戸 をな

災

と宅す家防問火確 部災エ宅策に訓

寿器 命は、 ゃ 電古 池く

> をま を たを 故した 目め感 障 は 安 知 15 と な 10 ひ し ど年も 交 てな

入災合 震いて載た報交な作をブロくさ設器換く動押 震 レ動だれ置をがて確す、 してさて年設必も認 7 いい月置要 力電 ー気 をを で また たと 製 す つ遮 造 は、き け断 年

間ど | 防余ブレ的コ知生◆に出のき関8原に◆まで地を本に◆の経を◆換も でム止裕レーにンし時感発火揺起係件因よ東しき震確体記火場 すが | カ止セたに震生やれこの ° がる日よるの認に にす出そ特火本う感時し記し警はいて ブす う気 で うさ 全震 、以カ災が電火しちれ1災 $1 \mathcal{C}$ 旧機と 1 お と し器は地数の件け 震ががのる とら地が電1う本 。 きの震引気 0 ち震

1めンと設 る なカ 有いしのるトき定レる停伴電火の定災大 1 防八がタ 効場を設器なに値し火電 本街可し 1部市能やな合切置具ど 家手につはでのブ上」の復気災た過た で 々す電段電で 、す電レのはこ 。気1揺 で気避不 井 火難在感をカれ地でたか、 町 。災す時震自しを震す なホをるやブ動や感発 金 土 4 5

(D)

動

番

情

報

「八街!激うま!ラーメン祭」が開催されました

八街市市制施行30周年記念事業として、けやきの 森公園において「八街!激うま!ラーメン祭」が9 月 17 日 生)~ 19 日 (月) (第 1 陣)、 9 月 23 日 (金)~ 25 日 (日)

(第2陣)の計6日間にわたり開催されました。 日本全国から集まった人気ラーメン店や八街市内 飲食店がコラボし、全16店舗が出店されました。 9月ということもあり雨が多く降る日もありまし たが、熱心なラーメンファンから家族連れまで幅広 い方々が来場され、八街市初のラーメンイベントは 大きな賑わいをみせていました。



*	午														
事		日		月月		火		水		木		金		土	
华	11.0					1		2		3		4		5	
事	午					8	3	12					(7)		
故		6		7		8		9		10		11		12	
	10					29		6		5		4 10			
発		1	2	1	_			_	G	1				1	$\overline{}$
生、		1	<u>ა</u>	_	4		5		6	1		_1	0	1	9
天	11			(7)	2	3		8	11)	12	1				
	30	2	0	2	1	2	2	2	3	2	4	2	5	2	6
	分			6	9		(5)			4	10	1	7		
ょ	/5	27		2	8	2	9	3	0						
り	午			8		3	2	9	4					午前	午後
変	後	_	$\overline{}$	_		_						_	_		
更				10	9	8	7	6	(5)	. 	4	3	2	+	1
に	午後	セブ	泉ム	富山	区コ	南部	义	上	力	八生	コメ	イユ	ラン	八独	ファ
なる		ブン	台区	Щ	コ	が出土	遅っ	砂ら	く	街中	ij	オン	ンド	街五	アミ
る場	2 時	イ	区民	7 3	ξ	老人	7	やす	ミ朝	中央	Ń	ノバ	•	五方	ミリ
\triangle	5	レ	ナヤ	コミユー	コミユニティ	憩	シコミュニ	らら	日	ス 店	- 1	八街		が杭	1
がが	3	ブン	セン	ニテ	ニテ	γ γ	ニテ	ぎぎ		/口	١,	店店	ム	店	7
あ	時	ン	夕	ノイ	ィ	の	ノイ	の	/ ப		&		東	/ ப	ì
ŋ	30	Щ	1			家					グロ		吉		ŀ
ま	分	田ム		ン	ン		ン				1		田		•
ります。		台店		夕	タ		タ				リーン		店		
0		户		1	1		I								